

星屑

October

VOL. 199



熊本県民天文台

熊本県民天文台は今年で9年目を迎える。私も熊本へ来て、そして天文台に入会して5年目となった。さらに運営委員として天文台にこられるお客さんに星を見せてちょうど4年が経とうとしている。一口に星を見せるといっても、これは並大抵の事ではない。宮本先生や蘭島さんなどのベテランと比べればはるかに若輩ものの私でさえ、毎週の運営の日には、天気は大丈夫だろうか、今晩は何を見せようかといろいろ考えながらバイクで天文台にやってきて（もちろん安全運転で、路面に集中しています）、運営の最中には、この子供はちゃんと見えているのだろうかとか、この雲の晴れ間から何がみせられるか、と苦心惨憺してしまう。私たちは、よく星をみているので、何がどのように見えているかというのが大体わかるけれども、まったくの素人の方にはいったいどのように見えているのかわからない。

「これが惑星状星雲のM27と言います。望遠鏡の視野の真ん中にぼうっとした雲のようなガスが見えます。よく見て下さい。」

「いや、なあんにも見えませんが、」

「・・・・・・・・・・ちょっと暗いので見にくいかもしれませんが、目を少しそらし気味にみられると薄いもやもやとしたガスが広がって見えるんですが。」

「はあ、そう言われると何となく・・・・・・・・。」

特に小さな子供になると、

「見えたね？」

「わかーんない。」

と答えが返ってくる。

雲の晴れ間を狙って31センチをふりまわし（もちろん丁寧に扱っています）苦勞してやっと対象をとらえて、「さあ、見て下さい。」と言ったとたんに雲にかくれてしまったというのはしょっちゅうである。また、初めにお客さんに「このように見えます。」と教えてしまうのではなく、まずとりあえず望遠鏡で見てもらって「どのように見えましたか。」と尋ねてみる（ちょっと意地悪だが、このように尋ねてみると意外と素直に見えて

18/8
いるようだ)、そして「このように見るともっと詳しく見えますよ。」とアドバイスして
もう一度改めて見てもらう、という具合にいろいろと工夫している。

夏休み、それは運営委員にとって最も苛酷な時期である。7月の梅雨明けと同時に8月
31日まで大勢の家族連れでにぎわう。天気の良い晩には、20人を越すお客さんが来台
し、こちらはその対応でパニック状態に陥ってしまう。天文台も老朽化が目立ち始め、2
階の観測室では10名程度しかはいれず、お客さんにも交代で31センチを覗いてもらっ
ているが、余りにも人が多すぎて、ほんの2、3の対象を見られて早々に帰られる家族を
見ると、「満足に見られたかなあ、もう少したくさん見せてあげたかったなあ。」と、少
々後ろめたい気持ちになることもある。

最近、科学雑誌や国営放送のインシュタインロマンとかいう番組のおかげで、宇宙論
とかホーキングとかが大流行だが、そのためにブラックホールとか、宇宙の構造などにつ
いて思わぬ質問をされるお客さんもいる。私も物理屋の端くれとして、このような質問に
は丁寧に答えしているつもりだが、内容が内容だけに、なかなかこちらの考えている事
がうまく相手に伝わらず、後で「こう説明すればもっと分かりやすかったかもしれない！」
と後味の悪い思いをした事もある。私のような者でさえこれだけ苦勞しているのだから、
きっと他の運営委員の方も日頃は相当苦勞しているに違いない。それでも、土星のリング
を見て感激されるお客さん(やはり土星の輪が一番うけがいい)が喜んで帰られると、私
も満足感に浸ってしまう。案外、運営委員はみんな星を見せる事が好きでやっているのか
もしれない。しかし、毎晩このような事を繰り返し、そしてそれを9年間も続けてきた事
は大変な努力の結果であると思う。

近頃天文台のそばに工業団地なるものができるという話があり、我々の天文台もその将
来が危うい状況になりつつある。でも、どんなに環境が変わっても一般公開は続けなくて
はならない。それは我々の義務である。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ おまけ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

天文台の運営委員にもいろいろな人がいる。

1. 自動車を運転していて追突され、車がレビンに替わったT氏。
 2. カップルのお客さんがこられるといやな顔をするT氏。
 3. D. W. 氏が婚約されて非常にショックを受けたT氏。
1. と2. 3. の人物は異なります。2. と3. の人物は同一人物です。

★ただ今運営委員募集中。運営委員が少ないために一般公開に支障が生じています。

★ ミュージック文台 ★

イラストルホ

池永くみこの 8/31


 の女4人と  で  の
 安達 国吉 木村 池永 [↑] 高田氏 天草へ出発

高田氏メンバー名を聞いて オバンばっか... ともしたらしく

その一言です... 分  いちめらゆるハメになる

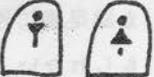
田も 気を付けてネ...
皆さん

言うとらんどは...


山道がカーブばっかで

 おうすごい坂道  着いてみたら林中

  
さっく木戸さんに案内していただく

  
立派な設備。トイレもあるし

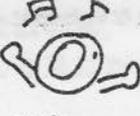
  ↓
コーヒーもいただく 1時間で 次のお客様

高田君 キャルが きたよー 
まだいびられる


展望台に場所を移動し

 ここが素晴らしい景色 天の川も美しい


さっく酒盛り

世俗的な  歌  踊り
これは無いけれど



国吉解説委員の



星座説明にも感動



近くにあった親子連れ



帰る時に



ありがとう
ございました

と、あいさつしてゆかれた



ビール・ビールで



石原さん
スクワーズがう!

幼年期にもとられた高田氏

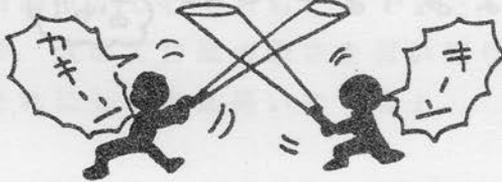


くらが!

石原さんと2人で



よし!!!



宇宙4カンバラが始まる



と木戸さん



と木戸さん



流れ星を1人よめ



ひどい



夜は天文台に泊めていただく



と3が暑いのに、なのに



皆ふんをけたくっていた



朝早く起きて



朝日に



明日の流れ星



朝焼けのピラミッドを期待したけど



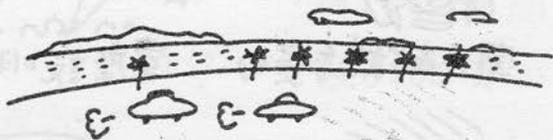
雲仙の灰で



何も見えませんでした



帰りは下田温泉へ



そして海岸系泉もドライブ



途中でテントをはって



海を見ながらお弁当

楽しい天草旅行ではありましたね。おわり

☆お知らせ☆お知らせ☆お知らせ☆お知らせ☆お知らせ☆お知らせ☆お知らせ☆
 お
 知
 ら
 せ
 ☆お知らせ☆お知らせ☆お知らせ☆お知らせ☆お知らせ☆お知らせ☆お知らせ☆
 次回は星屑も 200号 ☆

・・・という訳で次回は特別記念号です。(只今T氏が張り切って準備中！)
 なので来月号はいつもと内容が変わります。
 運営日誌や星空散歩等もお休み。その為に星空散歩は12月まで載っています。
 ”あれ-?”と思われた方、”間違っって星空散歩が多いな-”と思われた方も
 いらっしやったかも知れませんが間違いや手違いでは有りません。
 皆様、200号をお楽しみに！。



みいせつ...
 けしてはたのりか... 終るまで... 50から
 書きあけるまで... この中は見だ... 下さ...

風情ある古墳の中での観月会？

朝晩すっかり寒くなり、もう秋も終わりかなと思う日が続いていますがいかがお過ごしですか？風邪などひかれないようにして下さい。

時に、皆さんの所では台風は大丈夫でしたか？ 17号に続いて19号 ともに金曜日で、週末はかたづけで大変だったのではないのでしょうか？

わが家でも、停電するわ、電柱倒れるわ、2階の屋根が吹っ飛んで雨漏りするわでおおごとでした。天文台もかなりの被害を受けており、改めて台風の恐さを思い知りました。

それにしても瓦高いですねえ。

さて、記事がメ切におくれた言い訳はこのくらいにして本題にはいりませうかね、編集長。

毎年恒例となりました観月会、しばらく天文台でばかりやっていたので、趣をかえて開催地を古墳公園でと企画されました。

古墳の中でいにしえを思い浮かべながら月をめでののも一興、うーん、なんて風情があるんだろうと思いながら会場に車を走らせませう。

まずは天文台に行くと、お団子の準備が着々と進められています。手伝おうかと思いきや、なんと星屑の発送作業が行われているではないですか！！ ふっ風情はどこへ行ってしまったんだと思いながらも手伝う。

お団子もできあがり、さあ公園へ行こうと外へでると一面雲！！ まあそのうち雲も晴れるだろう、それに雲のかかった方が風情もあるうと気を取り直し公園へ。

先日下見をしておいた場所へ行くと、なんとナイターが煌々と周りを照らしバーベキューが行われています。「こんな予定にあつたかなあ、そうか艶島さんだな、気合い入ってるなあ」と勝手に想像をかりたて近づいていくと、見知らぬ人たちばかり。訳解らぬまま途方に暮れていると、向こうのほうで懐中電灯の灯。

灯の方へ歩いていくと東屋の側に見慣れた人たちが集まっています。ほっと安堵し空を見上げれば、少しは晴れ間が広がってきています。望遠鏡を土星に向けるとまあまあのシーイング、月も表面を雲が流れてきれいなもんです。

そろそろお団子をつまもうかと思ったときに、買い出し部隊も帰ってきました。ビール・ジュースも揃い、さあっと思うとなんか暗い。そうです、灯が懐中電灯しかないのです。懐中電灯に傘を付けて周りを照らすようにしているため暗いったらありゃしない。でもキャンドルサービスみたいだし、月をみるのみ差し障りはないし、雰囲気ありましたよ。

しかし時間がたつにつれ、なんか物足りないことに気がつきました。そう、すすきがないんです。縁側にお団子並べ、すすきの向こうにお月様がうかんでる、あの絵にほど遠いのでした。

でも屋外だから縁側も無いことだし・・・。

こうして22時頃まで30人ぐらいてお月見を楽しんだのでした。

なお、この参加者のうち、月見ではなくお団子が目当てだった人がほとんどだったということは言うまでもありませんよね。

(夢眠)

中島 ひとし

台風がきた！

いよいよ台風の風が吹き始めた午後4時頃、天文台は大丈夫かな？と思った私は、県道を通って行くことにした。途中、ビニールハウスが次々に飛び、これは危ないと思って艶島家による。なぜか奥さんが玄関でドアを持って何か叫んでおられるのだが、外に出ると危ないかなーと思ってそのまま天文台に向かう。車から降りて見るとトイレが倒れている。立て看板はふっとびかかっているし、ロッカーは倒れてずりずりと動いている。走って、天文台の中に駆け込みまづ艶島さんの所に電話を入れる。「さっきはドアを持って何しよったつですか？」「吹き飛ばされそうになって必死で押さえとったんよ。」「そおですか。なんか踊ってみたい。」

ふっとぶー！！

こんな電話をしたあと、いよいよ天文台の被害状況の点検を始めた。ドアを開けて外に出ると、いきなり風が強くなっていた。体を前に倒しながらトイレの所に行く。一応ロープを持って行ったのだが、フェンスの側までトイレを引きずって行っただけでめげてしまった。さらに、立て看板にはブロックを乗せ、ロッカーは倒しておいた。最後に残った観測室に登るのはちょっと思いながらもてすりにしがみつきながら観測室にはいる。やはり恐れていた通り。観測室の中は葉が舞い、雨が吹き込んでいた。足を踏み入れると『ぐじゃっ』という厭な感触。慌てて鏡筒の口に蓋をして、よくみると南側の壁からどンドン風と雨が振り込んでいた。これはいかんと思って、下に降りて板を持って上がってきた。そして板を打ちつけていたが、一枚を打ったところでもう一枚の板もろともふっとびそうになって、いかんと思わず板を捨てて下に降りてしまったのでした。これはちょっと危ないぞと思い、帰りかけて振り向いてみると、なんとエアコンの室外器がこけて屋根のはしに引っかかっているではありませんか。『清和の売上が！！』と思うと、思わず鍵を持って屋上に駆け上がっていました。必死で引き上げ、何とか寝かせてほうほうの体で引き上げたのでした。

一夜明けて

次の日の朝6時過ぎに天文台に行ってみると、なんと道にころがる便器！！はーとため息をつきながら便器を引きずって中にはいると、随分とすっきりとした天文台の敷地。何も無い！！いやいや観測室は？無事のような・・・あれっ！！壁板が無い！！南の壁と西側の壁と無くなっていた。望遠鏡はというと何とか無事でした。やれやれと思い艶島家に向かう。艶島観測所の屋根が無い。倉庫もない。車の被害もすごい！！

復旧工事：

土曜日（28日）：寿郎さんと二人。南の壁を張り替える。実にはかどる。

日曜日（29日）：総勢8人。トイレ拾い。トイレ屋根修理。西側壁張り替え。倉庫の屋根拾い・張り替え。倉庫の中身の大掃除。観測室掃除。終了午後5時くらい。

こんな台風は、もういらない！！でもおかげで、高所恐怖症は克服できたので、よかった。

写真を撮った



小林昌樹さん
おかげでございませう

1989. 11. 4
22:28 ~ 28:39

フィルム
4776 x 3200
NTK 16mm
ライトミット
ペンタックスME
現像 MAC 3200 30°C
1.5分

清和村. 穂月にて

しん
す



すばるの語源は、集める(集める)という言葉とか...

11月になると、段々寒くなって来ますが——特に天文台の夜は思ったより寒くなります。天文台にいらっしゃる時には厚手の上着をお持ち下さい。——晴れた日には、星が良く見えて気持ち良い位です。時々ポーッと空を見ていて、気が着くと1~2時間経っていたなんて事がよく有ります。…… (私だけかも)

東の空を眺めているとポーとした雲の様な所が見えます。これは牡牛座の肩の所に有るすばるです。すばるは別名ブレアデスと言いますが目の良い人は6個位星が見えるそうです。何個見えるか挑戦してみてください。すばるは散開星団の代表的な物ですが散開星団と言うのは若い星の集まりだそうです。太陽の様な星が同じ頃一度に生れて団体さんになって、星がバラバラと散らばって見えるので、散開星団と言われています。肉眼で見るより双眼鏡で見た方が青白い星が視野一杯に広がってきれいです。望遠鏡で見ると視野が狭過ぎて一部分しか見えません。でも青白い色はいっそう奇麗に見えて来ます。星の廻りを青白いガスが取り巻いていて、中々幻想的に見えて飽きません。普通は散開星団を見るのに双眼鏡を使いますが望遠鏡もお薦めします。

散開星団にはすばるの他にも沢山あります。同じ牡牛座の中にあるヒアデス星団、3時間程して昇って来る蟹座の真ん中にあるプレセペ、北の空に見えるペルセウス座に有る二重星団のh x、春には海へび座のM48、夏にはM6やM7等肉眼で見ても双眼鏡で見ても望遠鏡で見ても各々それなりに楽しめる物が沢山有ります。——もっと小さな散開星団で、望遠鏡でやっと見える物もあります。個人的には白鳥座のM29が好きなのですが天の川の他の星と一緒にあってどれが散開星団か良く判りません。"これかなー。どんな風に見えますか?"と言い乍らお客さんと話すのも楽しいし、地味な処もちょっと気に入っています。これらの散開星団は、天の川の当たりには有ります。双眼鏡は手軽に使えますので、天の川に沿って散開星団巡りをして楽しむのも楽しいです。一人では捜しにくいと言う方は天文台においで下さい。御案内出来る……答です。



【9月の県民天文台～運営日誌より～】

開台日 18日/30日 (開台率60%)

来客数 150名と台風19号

県下を吹き荒れた台風で天文台でも被害がでました。

日付	天気	来客数	担当運営委員	
1(日)	曇り	0人	甲斐	
3(火)	曇り			観測室の電話の位置変えをしました。
4(水)	晴れのち曇り	なし	国吉	今日の虹はきれいだったー。(国吉) 虹をみながら車を運転してきました。(あぶないなー)
8(日)	晴れ	12人	鮫島、渡辺D 甲斐	やっぱ土星
9(月)	晴れ	なし		TALK ABOUT 運営委員13人
10(火)	晴れ	10人	町田、永原	アストロ・プラザご案内 11月23日～24日 毎年恒例のアストロ・プラザが今年度は 佐賀天文協会の主催で、佐賀県で開催されます。 申込み締切りは 11月10日 申込み、問い合わせ：〒840 佐賀市唐人1-6-2 副島勉 佐賀天文協会事務局
11(水)	晴れ時々曇り	11人	小林J、宇都 国吉	
14(土)	曇り	5人+ 佐賀天文 協会3人	高田、守岡	
15(日)	晴れ後曇り	一家族6名	鮫島、甲斐	
17(火)	曇り時々晴れ	0人	町田	透明度は良かったものの曇多し 台風が接近中とのこと
18(水)	晴れ	30人 ぐらい	小林J、立川 宇都、金柿 国吉、中島	天文台に来てすぐに車の列! あっという間に人と車であふれてしまいました。 (国吉)
19(木)	晴れ	2人	宮本、長谷	(お客さんは熊本博物館の坂本先生と富田先生)
20(金)	晴れ	3人	三上、中尾 安達	月、土星
21(土)	晴れ	18人	中島、木下 高田	満月前の月、土星、アルタイル、ベガ 木下先生、運営に復活!?
22(日)	曇り晴れ	50人程	大勢	☆観月会 星屑発送作業
27(金)	台風		中島	観測室：ストッパーを初めて使った エアコン：室外機が倒れて落ちかけていたので ひきあげた トイレ：倒れている 観測室の外壁に板を打ちつけていたら、 吹っ飛びそうになってやめました。(中島)
28(土)	晴れ		中島、高田 小林J、石原 安達	台風被害状況 観測室：南側と西側の壁が一部がなくなっていました 望遠鏡は大丈夫のようです。 床は水でびしょびしょでした。 トイレ：道の下に落ちています 物置き：屋根の半分が飛びました。 エアコン：室外機は落ちていたので倒れています。 ※観測室の外壁を打ち直してやっと南側だけ修理 できました。 ••朝から便器(道にころがっていた)を拾ってくる のは悲しいものがありました。(中島)
29(日)	晴れ		鮫島、中島 国吉、安達 新村、守岡 金柿、高田	台風災害復旧作業 観測室の壁のうちつけ、トイレの天井張り、 物置の屋根、 •鮫島観測所の屋根の引き上げ(骨組みのみ)

【平成3年度会費納入状況】

年会費36人+前期分14人/169人

【9月に受領した同好会誌】

会誌ありがとうございました。

佐賀天文協会から「第13回アストロプラザへのご案内」がとどきました。

「THE CONSTELLATION 星座」仙台天文同好会 1991年8月 VOL.41 NO.457

「SINE」広島天文協会 No116, No117

【新入会員】会員No416 水上 誠也さん(31歳) 熊本市神水
趣味：絵をかくこと



季節の変わりめで朝や夜がひやっとするこの頃です。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。体調を崩さないように充分気を付けて下さいね。

この間の台風19号、凄かったですね。熊本では60年ぶりという被害で、瞬間最大風速が52.6mというとんでもない風が吹きました。あちこちで屋根が飛ばされたり、停電したりと大変だったようです。天文台でもトイレがとばされたりと大変でした。あ、遅れましたが、台風災害見舞い申し上げます。皆さんのお宅は大丈夫でしたか。私の家でも瓦が飛ばされてしまいまして、数日後屋根に上って瓦の差し替えをしました。途中落ちそうになり、ヒヤッと、しかも、差し替え中に瓦を踏み割ってしまって、瓦が古かったのか、それとも……。

★ ★ ★

さて、皆さんは仲秋の名月はいかがだったでしょうか。実はこのお月見、本来は旧暦の9月13日(十三夜)と合わせて2回見ると幸せを呼ぶといわれ、十五夜だけでは片見月といって忌み嫌われました。十五夜は別名・芋名月、十三夜は豆名月(栗満月)とも呼ばれ、ともに食物の収穫に感謝する行事。名月を愛でるだけでなく、潮の干満同様、万物の成長を司る月を敬う気持ちの現れなのです。お団子は通常12個、うるう年は13個、その年の月の数だけ。また枝豆や芋(里芋)などの収穫物も一緒にお供えします。さて、十五夜にお月見をした皆さんは、今年から十三夜も見るようにしてはいかかでしょうか。今年の十三夜は10月20日です。是非、ご覧くださいね。

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1991年10月号 通関199号

発行所 熊本県民天文台 〒861-41 熊本県下益城郡城南町藤山

TEL 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 〒860 熊本市古京町3番2号

熊本市立熊本博物館内

TEL 096-324-3500

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

担当 中尾 富作

星屑200号用 原稿ハガキの御催促

星屑9月号で、会員のみなさんにお送りしましたハガキをまだ郵送されていない方、10月いっぱいまで受付けています。

お早めに！！

すでに、出された方はごめんなさい。